



波原便り

県立辺土名高等学校
令和7年9月30日(火)
発行者 校長 桃原健次
第11号

<生徒の活躍・行事>

沖縄県高等学校音楽コンテスト

主催/沖縄県高等学校文化連盟・沖縄県高等学校音楽教育研究会



← 沖縄県高等学校音楽コンテスト 9月12日に出場、1年生の宮里美佑さん(吹奏楽部)が**クラリネット独奏で金賞を受賞!** 惜しくも県外派遣は逃しましたが、次回に期待が持てます。

▼「総合的な探究の時間」発表会 9月26日(金)

総合的な探究の時間で「環境と進路(未来をつかむ)」を全体テーマとしてグループで研究報告のまとめ発表(写真)しています。1年生はやんばる地



域で野外実習をし、石灰岩(辺戸岬)の植物、慶佐次川のマングローブ林の環境と生きもの等を観察し、テーマを絞ってまとめ、発表しました。2年生は障害のある者もない者も生きやすい共生社会の形成について学ぶため、名護市の桜野特別支援学校を訪問するなど共同・交

流学習を行い、さらに深く調べまとめ、発表しました。3年生は校内外で課題を見つけ、うさぎのより良い生活環境を考え、中庭で柵を作成するグループや、校門近くのヤギのエサ入れを作成(写真)するグループなど、仲間と協働し工夫を凝らし課題解決に取り組んだ結果を発表していました。

<数理哲人による特別講話>

・9月19日(金)1校時、全校生徒を対象に、仮面をかぶった数理哲人(本名:米谷達也、東京・埼玉で私学中高一貫校非常勤講師・予備校講師など、数学の楽しさを伝える旅する数学者として活動)の特別授業を行った。頭が良くなる生活習慣についてや「**学習する、学力を付けることで、やりたいことと、できること、やるべきことを一致させることができる。そのような人生が人にとって幸せである**」と、数理哲人の考え方が話されました。今回の特別授業は1時間という短い時間だったので数学的な内容は「フィボナッチ数列」と「図形で配置を換えると面積が変わる不思議」のわずかではありましたが、被災地支援、離島支援を精力的に行っている“哲人“なので、今後に繋がる1時間でした。



<地域と連携した取組>

9月20(土)県全体の取組「沖縄まるごとゴミ拾い」に2年生の仲嶺あきなさんが運営に関わり大宜味村の海岸清掃を行いました。生徒・地域住民も協力し、**100キロを越えるゴミ**を収拾!



9月17日(木)国頭村立辺土名小学校1、2年生約50名が、生活科の授業の一環で「生きもの博物館」を見学、楽しく学んでいました。



★学園祭前の PTA 美化作業

9月26日(金) 17:00~18:30

←日頃から生活環境美化係(景光、渡慶次、山内など)、用務(大城)は草刈り等環境整備に取り組んでいるのですが、植物の成長にはかなわない状況。今回の美化作業で校内が大分すっきりしました。ご協力してくださった保護



者・寮生・教職員のご協力に感謝!

・草刈されたグラウンドのバックネット裏 ↑

★★★学園祭は今週 10/4(土) 10-14 時、80周年後夜祭(先輩イベント) 15-17 時★